

第4回 香坂山遺跡調査指導委員会会議録

日時：令和5年11月1日 午後1時30分～5時

会場：佐久市東会館会議室及び香坂山遺跡発掘調査現場

委員：佐藤宏之委員長、国武貞克副委員長、臼田武正委員、
大竹幸恵委員、須藤隆司委員、

オブザーバー：県教委 寺内 貴美子 指導主事、堤 隆 専門委員

事務局：依田部長、井上企画幹、山本係長、久保、松下

1 出土遺物の取扱いについて

- ・基本的には埋めもどすが、現地で可能な限り観察・記録すること。【委員】
- ・結晶片岩や緑色岩の石斧調整剥片など貴重な石材があるので、写実実測可能な程度の写真をしっかり撮っておくこと。【委員】

2 ボーリング調査について

ボーリング調査個所について、委員の同意を得る。

- ・学術調査区周辺で、ATと遺物包含層の相関性を把握し、ボーリング調査結果と比較して範囲を推定すること。ボーリングコアを堆積学の専門家に分析してもらい、その結果を総括報告書に記載すること。【委員】
- ・ATの堆積範囲＝遺跡範囲ではないことがわかった。遺物分布と傾斜の相関性を把握する必要がある。【委員】

3 自然科学分析について

- ・堆積構造物としてシルト・粘土の有無を調べるのも有効。【委員】
- ・花粉や植物珪酸体は有効な結果が出ない可能性が高い。AT包含層が流水環境か止水環境か珪藻分析でわかるかもしれない。CTスキャンを用いる方法もある。【委員】

その他

- ・県埋文センターの調査記録を確認し、深堀個所との土層の対応を確認すること。県調査区BL 1～4区の調査区の形が違うので修正すること。【委員】